

(仮称)学びと育ち支援システム(統合型校務支援システム)導入に向けた 取組状況について

(仮称)学びと育ち支援システム(統合型校務支援システム)導入に向けた取組状況について、以下の通り報告いたします。

1 本市で導入予定(仮称)学びと育ち支援システム(統合型校務支援システム)の概要

- (1) 本システムは子どもの学びと育ちを支援することを第一とするとともに、教員が子どもと向き合う時間を確保することを目的として導入を目指しています。その趣旨を明確にするため、名称を「(仮称)学びと育ち支援システム」とすることとします。
- (2) 本システムは、明石市内各学校間と教育委員会との間で「こども(個人)カルテ」の作成をし、指導上必要な情報を共有したり、引き継いだりすることで、個別に最適化された学びを提供することを目指します。加えて、学校、こどもセンターや発達支援センターなどの関係機関、放課後児童クラブなどとの間でも、必要な情報を共有し、学習支援や生徒指導支援など、子どもの「学び」と「育ち」を一体的に支えるために運用します。

2 導入に向けた取組状況について

- (1) 教育委員会事務局内に課室を横断した「プロジェクトチーム」を組織し、導入スケジュール等の検討に着手
- (2) 先進市等視察を行い、本市導入システムの方向性について確認、共有
- (3) システム提供者各社に製品の特長等のヒアリング実施

3 今後の予定について

令和2年 6月~8月	システムの仕様書の決定
9月議会	補正予算 提案
10月	プロポーザルの実施・業者選定
令和3年度	システム導入・システム試験運用、教員研修
令和3年 夏頃	本格稼働

4 その他

(仮称)学びと育ち支援システム全体イメージ図 (別紙)

学びと育ち支援システム(校務支援システム) 全体イメージ図

子どもの学びと育ち支援システム(仮称)全体像

